

商 業

1 研究のテーマ

(1) 研究テーマ

丁寧な振り返りによる学習の自己調整力を向上する授業づくり

(2) 研究のねらい

単元内自由進度学習及び協働学習を通して、学習の自己調整をした様子を丁寧な振り返りによってメタ認知させることをねらいとする。

2 実践事例

(1) 単元指導計画

ア 科目名：簿記

イ 単元名：決算

ウ 単元の目標：

決算整理など決算に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適正な決算整理と財務諸表の作成について、組織の一員としての役割を果たすことができる。

エ 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。	決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

オ 単元を貫く問い

今年度の当期純利益¥500,000という予算目標を立てています。今年度の予算目標を達成するためには、どのような経営改善案が考えられるでしょうか。

カ 単元の指導と評価の計画

次	時	学習活動	知	思	態	評価規準・評価方法
1	1 2	単元内自由進度学習 ・ ①コースの選択及び、2時間の取組計画を立てる。 ・ ②自由進度学習に取り組む。 ・ 9月取引の仕訳をする。 ・ 決算整理に必要なデータを整理する。 ・ 決算整理仕訳をする。 ・ 損益計算書と貸借対照表を作成する。 ・ 解答を確認する。 ・ ③発展問題に取り組む。 ・ ④自己の取組を振り返る。	○		○	【知識・技術】 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (定期試験) 【主体的に学習に取り組む態度】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的に取り組もうとしている。 (ワークシート、振り返りシート)

2	3	協働学習 ①個人で経営改善案を作成する。 ②個人で作成した経営改善案をグループで共有する。 ③グループとして経営改善案をまとめる。 ④他グループと情報共有する。(1回目)			
	4	協働学習のつづき ⑤他グループと情報共有する。(2回目) ⑥他グループから得た情報をグループに持ち帰り、共有する。 単元の学習のまとめ ①自分の最終的な経営改善案をまとめ、損益計算書と貸借対照表を作成する。(スプレッドシート) ②単元の学習を振り返る。		○	○

【思考・判断・表現】
 決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。
 (ワークシート、スプレッドシート)

【主体的に学習に取り組む態度】
 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に協働的に取り組もうとしている。
 (振り返りシート)

キ 授業実践例 (4時間目/4時間)

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入 (5分)	見通しを持つ ・本時の学習目標と流れを理解する。	本時の学習目標と流れを共有することで、主体的に学習に取り組めるようにする。	
【問い】 あなたなら、どのような経営改善案を提案しますか？			
展開 (35分)	グループワーク ①他グループと情報共有をする。 ・他グループに説明を聞きに行く者と自グループに残り、他グループに説明する者とを決める。 ・自グループでどのような経営改善案を提案したのかを説明する。 ・他グループの経営改善案の情報を集める。 ②グループに戻り、他グループから得た情報を共有する。 個人ワーク ③自分の提案する最終的な経営改善案を作成する。 ④③を反映した損益計算書・貸借対照表を作成する。(スプレッドシート)	他グループの経営改善案の情報を得る際は、ワークシートの「同じところ」、「異なるところ」に整理させる。 最終的な経営改善案を作成させる際に、自グループで作成した経営改善案や他グループの経営改善案を基に考えをまとめさせる。	

<p>まとめ (15分)</p>	<p>単元の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> グループワークや他グループとの情報共有を経て、自身の考え方が変わったところと変わらなかったところを記入する。 単元を通した自己の学習の取組を振り返る。 	<p>振り返りがうまく進まない場合、最初の経営改善案と最終的な経営改善案を比較させ、グループワークや他グループとの情報共有で、自身の考え方がどのように変わったのかを整理させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】 決算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応している。(ワークシート、スプレッドシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に協働的に取り組もうとしている。(振り返りシート)</p>
----------------------	---	--	--

研究実施校：神奈川県立相原高等学校(全日制1年 総合ビジネス科)
 実施日：令和5年10月26日(木)
 授業担当者：藤田 芳枝 教諭

(2)「指導と評価の一体化」の視点を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導と評価のポイント

ア テーマ設定の背景

「主体的に学習に取り組む態度」は、①知識及び技術を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面を評価するとされている。しかしながら具体的な評価に当たっては、どのような場面で、どのように見取ればよいのか試行錯誤しながら進められている現状がある。

そのような中、商業部門では令和3年度から「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価について研究を進めている。令和3年度は、単元を貫く問いを設定した上で、学習前と学習後における比較が重要な要素ではないだろうかということに焦点を当てた。令和4年度は、単元を貫く問いに加えて、知識・技術を活用させるパフォーマンス課題の設定、ならびに理解度をメタ認知させる活動を取り入れた。

令和5年度は、これまでの研究を踏まえ、次の2点に焦点を置くことにした。

- ①「個別最適な学び」や「協働的な学び」を意識した単元づくりが重要なのではないか。
- ②「丁寧な振り返り」が鍵なのではないか。

①については、この2カ年の研究から、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に当たっては、「主体的に学習に取り組む態度」自体に焦点を当てること以上に、単元のデザインが何よりも大切であることが見えてきた。特に、自己調整できる機会をいかに創出するかが鍵であり、学習の主導権を教員から生徒に移すことが重要になってくる。このことを踏まえ、今年度は個別最適な学びとしての単元内自由進度学習の導入、並びに協働的な学びとしてのパフォーマンス課題の設定を軸に単元のデザインをすることとした。

②については、教職員支援機構の校内研修シリーズNo25「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて」が大きなヒントとなった。動画コンテンツにおいて、とある理科の授業後の様子が紹介されていた。動画の内容としては、単元最後の時間において、単元の学習のまとめがなされていたが、それだけでは表面的なまとめになっている感じがした観察者が、授業後に生徒に繰り返し「どうだった?」「どうして?」と質問を何度も繰り返すというものである。そうしたことで、今後の学びにいかされる学習内容の振り返りや、学習の進め方に関する振り返りの形成につながっていく様子が収められていた。ここから、丁寧な振り返りが自己調整を育成する要素になると考えた。

今年度は、以上の二つの仮説を検証するため研究テーマを、「丁寧な振り返りによる学習の自己調整

「チャレンジコース」は、簿記を得意としている生徒が楽しみながら問題に取り組むことができるように複雑な計算を必要とする仕訳等を含め合計10問用意した。

また、深い学び(authentic learning: 本物の学び)の視点から、決算整理仕訳は、教科書や問題集、検定試験等においては与えられている情報を難易度に差を付けながらも自身で収集させた。

- ・金庫の中に入れたおもちゃのお金や他人振出の小切手、他人振出の約束手形、未使用の収入印紙を数えることで現金の実際有高がいくらなのか、正しい費用がいくらなのかを調べさせる。
- ・保有する株式について実在する企業を用い、実際の株価をインターネットで調べさせる。
- ・国税庁のホームページにある耐用年数表を用いて備品や建物の減価償却費の計算に必要な耐用年数を調べさせる。

さらに、各コースの問題を解き終えた後には、「発展学習」として決算に関わるテーマを5題用意し、生徒各々が興味を持ったテーマについて探究することができるようにした。

(ウ) 協働学習

協働学習においては単元内自由進度学習との繋がりを持たせた。単元内自由進度学習において作成した損益計算書と貸借対照表から、問題上の企業の純利益は¥20,000であることを確認させ、協働学習では、そこから経営改善案として当期の利益目標である¥500,000を達成するための下半期における経営改善案を考えさせた(図3)。

番 氏名

[問い]
あなたなら、どのような経営改善案を提案しますか?
当期純利益を上げる方法よ(ある・ない)。

1. 気になることを書き出してみよう。 2. 1で書き出したことの経営改善案を考えよう。

➡

3. 経営改善案をグループで共有しよう。

メンバー	同じところ	異なるところ

4. グループとしての経営改善案を記入しよう。

5. 4で考えたグループとしての経営改善案を他グループ向けに紹介しよう。(スプレッドシート)

6. 他グループの経営改善案を見て、気になった班を記入しよう。

7. 他グループと情報共有しよう。

メンバー	同じところ	異なるところ

8. 同じグループのメンバーが集めた情報を整理しよう。

グループ	担当	同じところ	異なるところ

9. グループでの話し合いや他グループとの情報共有をして、自分の提案する経営改善案を記入しよう。

10. 9で提案した経営改善案を反映した損益計算書および貸借対照表を作成しよう。(スプレッドシート)

図3 協働学習のワークシート

図3 協働学習のワークシートは総合教育センターWebページにてダウンロードできます。

流れは次のとおりである。

- ①個人で経営改善案を考える。
- ②4人1組となり、個人で考えた経営改善案を出し合いグループとしての経営改善案をまとめる。
- ③他グループのスプレッドシートを確認し、より説明を聞きに行きたいグループを4つ選び、説明を聞きに行く(図4)。

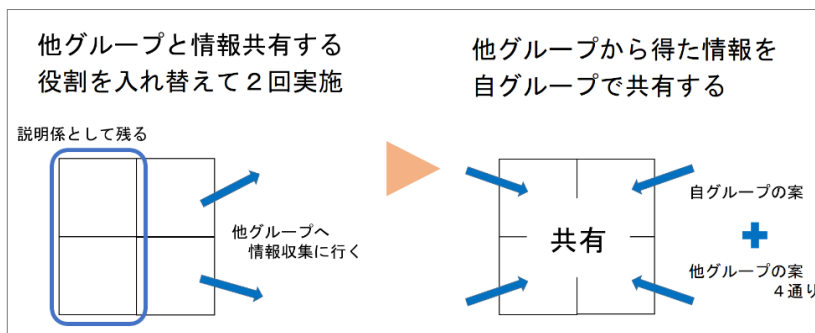


図4 ③④の情報共有方法

- ④他グループから集めた経営改善案を持ち寄り、自グループ内で共有する。
- ⑤自グループで考えた案とグループのメンバーがそれぞれ集めた案の計5通りの経営改善案をもとに、自身としての最終的な経営改善案を個人で考える。
- ⑥損益計算書・貸借対照表を作成し、利益目標を達成していることを確認する。

(エ) 丁寧な振り返り

生徒の自己調整している様子を丁寧に見取るため、単元内自由進度学習と協働学習のそれぞれにおいて振り返りを設定した。

〈単元内自由進度学習で使用した振り返りシート〉

生徒の自己調整している様子を、①学習計画(時間)と②学習方法、③単元内自由進度学習の振り返りから見取ることとした。①では、単元内自由進度学習に取り組む前に作成した2時間分の計画と、取り組み時に記入する実際の所要時間とを比較しやすいように並べて表示させた。これにより、残り時間を意識させながら、進捗状況を管理させるという学習の自己調整を行わせた(図5)。

① 自由進度学習の取り組み計画および実施記録

	計 画	実 際
9月の取引仕訳	分	分
決算整理 (情報整理)	分	分
決算整理 (仕訳)	分	分
損益計算書・貸借対照表	分	分
発展学習	分	分
計	100 分	分

図5 振り返りシート (①自由進度学習の取り組み計画および実施記録の欄)

図5～7の振り返りシートは総合教育センターWebページにてダウンロードできます。

②では、単元内自由進度学習において、つまづいた問題のあった生徒に対しては、何を参考にし、どのように解決したのかということと、自身の学習を分析させるためどこでつまづいたのか、なぜつまづいたのかについても記入させた(図6)。つまづいたところのなかった生徒に対しては、おすすめの勉強法を記入させることで、自己の学習の在り方を客観的に捉えさせた。

② つまづいたところが (あった・なかった)。
 あったに○の生徒は、どのように解決しましたか?
 教科書・プリントを見た 周りの生徒に聞いた タブレット等で検索した
 その他 ()

③ ②で「あった」に○の生徒は、どこでつまづいたのか、なぜつまづいたのかを記入してください。
 ②で「なかった」に○の生徒は、どのように学習に取り組んでいるか、おすすめの勉強法を記入してください。

図6 振り返りシート (② つまづいたところの欄)

〈協働学習で使用した振り返りシート〉

最初に設定した単元を貫く問いに対して、グループでの話合いや他グループとの情報共有を通して、どのように自身の考え方が変わったのかを見取るため、はじめに自身で考えた経営改善案と変わらなかったところと変わったところ、その理由について記入をさせた。理由を記入させることにより、自己の変容をより深く見つめさせることをねらった(図7)。

はじめの経営改善案と変わらなかったところ	なぜ変わらなかったのか?
はじめの経営改善案から変わったところ	なぜ変わったのか?

図7 振り返りシート(経営改善案の欄)

ウ 検証

(ア) 単元内自由進度学習

生徒たちは、これまでは与えられていた決算整理事項の情報が無く、自分たちで情報を集めなければならぬという授業形態に戸惑い、試行錯誤している様子が見られた。例えば「硬貨も現金に含めるのかな?」「収入印紙も現金でいいんだっけ?」「お金を数え間違えたら嫌だから一緒に確認しよう」「次は何をすればいいんだろう?」と、自然と周りの生徒と相談し合ったり、教科書や授業プリントを確認したりしながら進めるといった様子である。授業後に回収した振り返りシートから、82.8%の生徒の回答で、どこで、なぜつまづいたのか、今後どのように取り組んでいきたいかという客観的な分析がなされていた。

また、5題用意した発展学習課題では「気になる会社の財務諸表を見てみよう」のテーマ選択者が多く、ディズニーランドやUSJ、サンリオ等を調べて年度比較や、当期純利益が増えた理由等を考察していた。理解度の早い生徒に対して、さらなる学びの動機付けができたと考えられる。

振り返りシートの記述には、「いつもなら決算整理事項として与えられている金額を自分で求めることが難しく、決算整理仕訳の仕方をテンプレートとしてしか覚えられていないことに気付くことができた。もっと理解を深めようと思った。」「計画通りに進まない時や、つまづいてしまった時には、計画に戻せるように解決策を考えるのも重要だと思った。」という記述があった。

自由進度学習自体が初めての取組ということもあり、当初の計画以上に時間がかかってしまったり、何をすればよいかわからなかったりという生徒もいたが、自分たちに足りないものは何かを改めて認知し、自己調整をする機会になっていた。

(イ) 協働学習

単純に費用額を減らせば良いというものではないことに気付き、未知の課題に苦戦している様子が見られた。インターネットを活用し、一般的な企業の水道光熱費や給料を調べながら進めている姿や、計上されている費用額を月額に直し検討している姿も見られた。また、投資に詳しい生徒が「損切り」という用語を出すと、「何それ?」とインターネットで検索し、「そんな方法もあるんだ、勉強になった」と新たな発見を楽しんでいる生徒もいた。

振り返りシートの記述には、「グループのメンバーと相談することで、いろいろな視点から見ることができた。これを機に周りの人と話すことで、自分の知識とか考えを豊かにしたい。」「経営の難

しさを学ぶことができた。」「今後は自分が経営者の立場となって物事を考えたい。」という記述があった。

簿記をただの技術としてとどまらせるのではなく、商業の見方・考え方を働かせながら、より実務に近い簿記にしようとする姿が見られたとともに、学習の進め方についてもより良い在り方を追求しようとする姿が見られた。

(ウ) 事後アンケート

振り返りシートに、「単元内自由進度学習で基本コースを選択したが、応用コースを選択してもよかったかも」という記述が見られたことから、事後アンケートを取ることにした。

- 質問① 単元内自由進度学習で選んだコース
質問② 今後同じような学習活動を行う場合、あなたはどのコースを選びますか？
質問③ 質問②でそのコースを選んだ理由を教えてください。

今回実施したクラスは簿記に苦手意識を持つ生徒が多く、質問①において基本コースを選択した者が72.7% (図8)と大きく偏りがあったが、質問②ではそのうちの20.8%の生徒が今度は応用コースを選びたいと回答した。質問③における記述では、「今回基本コースをやってみて、内容は難しかったけど、友達と一緒に答えを探したり、自分で色々考えてとても楽しかったし、たくさん悩んだり問題を解いていくことはやりがいがある。」「振り返ってみると、ここはできたなどか、なるほどと思わされる場所があったため、応用コースを選んで、自分で気付ける学習にしたいと思った。」という回答が多くあった。

チャレンジコース選択者については、学習の前後で9.1%も減少していることから (図9)、単元内自由進度学習を通して、生徒のやる気を大きく削いでしまったように見えるが、その理由としては「自分の知識がまだまだ不足していることがわかったため、基礎基本から勉強をし直す必要があると思った」という前向きな回答が得られた。

単元内自由進度学習で選んだコース

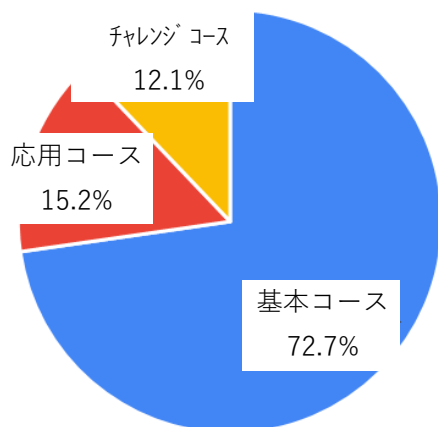


図8 質問①への回答

今後同じような学習活動を行う場合、あなたはどのコースを選びますか？

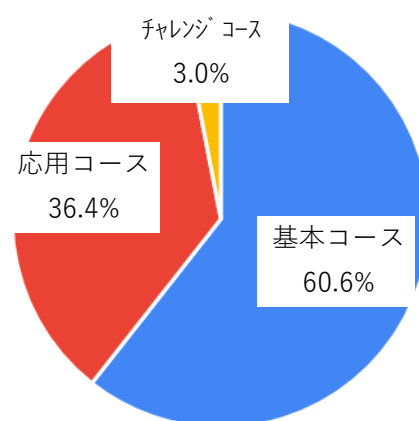


図9 質問②への回答

エ 成果と課題

研究の成果としては、検証の結果より、自己調整を多様に行うことができている様子から、学習の自己調整力を養うにあたっては、

- ①個別最適な学びや協働的な学びを意識した単元づくりが重要である。
- ②丁寧な振り返りが鍵である。

という手立てが効果的であることがわかったことである。

研究の課題としては、学習の進め方についての自己調整は養うことができたが、教科の特質である見方・考え方をベースとした自己調整については十分に意識させられなかったことである。経営改善案において、当期純利益を増やすためには、給料や水道光熱費等の費用を減らすという案が多く、収益を増やす、売上を伸ばすという意見がほとんど挙げられていなかった。給料の減額や、人員削減がどのよう

な影響を与えるのかという経営者としての資質を養っていく必要があることと併せて、いかに収益を増やすかがビジネスにおいて根本的な考え方であることを養っていく必要がある。今後は、今回の研究を通して判明した「学習の進め方」における自己調整だけでなく、「見方・考え方」における自己調整という面も意識して授業づくりに当たりたい。

オ 今後の展望

令和4年度の商業部門の報告書においても述べられているが、やはり「簿記」という科目においては、検定試験を意識した授業になりがちである。そのため、問題が解けることに重点が置かれ、生徒は決算整理の流れをテンプレートとして覚えているだけだということがわかった。実際に、簿記を習っている商業科の生徒においても、文化祭の現金出納帳を作成する場面で、「何をどのように記入すればいいのかわからない」という生徒が少なくない。検定試験に捕らわれすぎない、より実践的な学習活動の必要性を感じた。生徒自身においても、問題集と異なる問われ方がされると、全く別のものという認識となり、手が付けられなくなってしまうということに課題意識が芽生えたようだ。

一方で、振り返りシートにおける感想では、「今回の授業はリアル感があり、今後このような状況になったときの経験としてすごく役に立った」「経営者の立場になって物事を考えることが必要だと感じた」「普通に問題を解くこともいいけど、今回のような問題を解くことによっていつもとは違う簿記の面白さを知ることができた」と、意欲的な回答が多くあった。「ビジネス基礎」で学習したであろう「商品に付加価値をつけて売上を増やす」という案を出していた生徒もわずかながらいた。

このようなことをもとに今後の授業づくりを考えると、正解が一つの問いばかりではなく、自身としての納得解を作り出す問いについても授業の中で取り上げ、生徒たちの自由な発想を促していく必要性や、簿記という一つの科目だけで完結させるのではなく、他の商業科目との繋がりも意識しながら単元をデザインしていく必要性を改めて感じた。また、社会情勢や国際的視野での繋がり、統計的な経営改善案を意識していくなど、商業科の枠にとどまることなく、他教科との横断的な深い学びを図れる仕組みづくりを行っていき、ビジネスを通じて地域産業をより良く発展していける生徒を育てていきたい。

図2 (コース共通)

番 氏名

相原商店は、今年度の当期純利益¥500,000 という予算目標を立てています。昨今の物価上昇により、費用がかさみ経営を圧迫しています。加えて、商品もなかなか売れない状況が続いています。

そこで経理担当者であるあなたは、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの半期分の損益計算書と貸借対照表を作成した上で、相原商店の現状を把握し、経営改善案を作り、社長に提案しようと考えました。



損 益 計 算 書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	6,400,000	売 上 高	20,000,000
給 料	6,480,000		
貸倒引当金繰入	900,000		
減価償却費	990,000		
水道光熱費	1,200,000		
通 信 費	280,000		
支 払 家 賃	600,000		
支 払 利 息	2,700,000		
当 期 純 利 益	450,000		
	20,000,000		20,000,000

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	910,000	買 掛 金	250,000
当 座 預 金	2,000,000	借 入 金	90,000,000
売 掛 金 10,000,000		資 本 金	13,000,000
貸倒引当金 1,000,000	9,000,000	当 期 純 利 益	450,000
商 品	4,000,000		
備 品 2,700,000			
減価償却累計額 360,000	2,340,000		
建 物 66,300,000			
減価償却累計額 850,000	65,450,000		
土 地	20,000,000		
	103,700,000		103,700,000

残高試算表

令和5年8月31日

借方	勘定科目	貸方
620,000	現金	
3,959,000	当座預金	
2,000,000	受取手形	
17,548,500	売掛金	
	貸倒引当金	1,000,000
4,000,000	商品	
2,700,000	備品	
	備品減価償却累計額	360,000
66,300,000	建物	
	建物減価償却累計額	850,000
20,000,000	土地	
	買掛金	10,700,000
	借入金	90,000,000
	資本金	13,450,000
	売上	22,548,500
18,350,000	仕入	
2,700,000	給料	
271,000	水道光熱費	
170,000	通信費	
50,000	租税公課	
240,000	保険料	
138,908,500		138,908,500

[補足事項]

1. 企業情報

従業員数 3名 スポーツ用品を取り扱っている。

2. 金庫の中身を確認したところ、以下のものが入っていた。

- ・硬貨 円
- ・紙幣 円
- ・他人振り出しの小切手 円
- ・他人振り出しの約束手形 円
- ・未使用の収入印紙 円

3. 令和5年8月31日の商品棚卸高

- ・野球バット @¥50,000 52本
- ・野球グローブ @¥20,000 48個
- ・サッカーボール @¥10,000 75個
- ・サッカースパイク @¥20,000 67足
- ・テニスラケット @¥15,000 20本

4. 保有する固定資産について

- ・建物（鉄筋コンクリート 店舗）：令和4年10月1日より引き渡しを受け使用している。
- ・備品（事務用の机といす）：令和3年4月1日に購入した。

※ 建物、備品どちらも残存価額0 定額法で償却している。

図2 (基本コース)

単元内自由進捗学習課題 【基本コース】

相原商店の令和5年9月1日から令和5年9月30日までの取引は、次のとおりであった。
よって、1. 9月の取引について仕訳を示しなさい。

2. (1) 決算整理のための情報の整理 および (2) 決算整理仕訳を示しなさい。
(3) 半期(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。

取引

9月1日 厚木商店から商品¥1,100,000を仕入れ、代金は掛けとした。

野球バット	@¥50,000	10本
野球グローブ	@¥30,000	5個
テニスラケット	@¥15,000	30本

4日 平塚商店に商品¥2,711,500を売り渡し、代金は掛けとした。

野球バット	@¥70,000	20本
野球グローブ	@¥42,000	10個
サッカーボール	@¥14,500	15個
サッカースパイク	@¥29,000	16足
テニスラケット	@¥21,000	10本

6日 小田原商店から商品¥600,000を仕入れ、代金は掛けとした。

サッカーボール	@¥10,000	20個
サッカースパイク	@¥20,000	20足

10日 売買目的でオリエンタルランドの株式 300株 @¥5,190 を買い入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

15日 厚木商店に買掛金¥2,500,000を小切手を振り出して支払った。

20日 横浜商店から売掛金¥1,000,000について同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

22日 電話料金およびインターネット使用料金を合わせて ¥46,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

25日 小田原商店へサッカーボール @¥10,000 20個 を注文し、その内金として ¥80,000 を現金で支払った。

28日 9月分使用の水道代と電気代をあわせた¥100,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

29日 9月分の給料 ¥540,000 を当座預金口座より振り込んだ。

決算整理

1. 損益計算書および貸借対照表を作成するために情報を整理しなさい。

- ① 期末商品棚卸高 ¥6,210,000
- ② 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高の10%を見積もり、貸倒引当金を設定する。
- ③ 建物および備品減価償却高（6か月分を計算する）
- ④ 有価証券評価高（9月29日の株価（終値）を用いる） ¥1,442,700
- ⑤ 現金の実際有高
- ⑥ 収入印紙の未使用高 ¥20,000
- ⑦ 保険料は6月に1年分を支払ったものであり、前払分を繰り延べる。
借入金に対する利息¥1,350,000が未払いである。

2. 決算整理 1. をもとに決算整理仕訳を示しなさい。

3. 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。（スプレッドシート）

単元内自由進度学習	【基本コース】
-----------	---------

1. 仕訳

	借 方	金 額	貸 方	金 額
9 / 1				
4				
6	仕 入	600,000	買 掛 金	600,000
10				
15	買 掛 金	2,500,000	当 座 預 金	2,500,000
20	現 金	1,000,000	売 掛 金	1,000,000
22	通 信 費	46,000	当 座 預 金	46,000
25	前 払 金	80,000	現 金	80,000
28	水 道 光 熱 費	100,000	当 座 預 金	100,000
29	給 料	540,000	当 座 預 金	540,000

2. 決算整理

(1) 整理した情報を記入しなさい。

--

(2) 決算整理仕訳

	借方	金額	貸方	金額
①	仕入 繰越商品		繰越商品 仕入	
②	貸倒引当金繰入		貸倒引当金	
③	減価償却費		備品減価償却累計額 建物減価償却累計額	
④				
⑤	雑損	50,300	現金	50,300
⑥	貯蔵品	20,000	租税公課	20,000
⑦				

(3) 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。(スプレッドシート「自由進度学習課題」ファイル)

発展学習 テーマを1つ選択して取り組もう。

- 期末商品棚卸高にも評価損はあるのだろうか。
- 減価償却費を計上する際の、定額法と定率法を採用する基準はあるのだろうか。
- 相原商店の経営状況の良し悪しはどのようにしてみるのだろうか。
- 気になる会社の財務諸表を見てみよう。
- その他 (テーマ : _____)

図2 (応用コース)

単元内自由進捗学習課題 【応用コース】

相原商店の令和5年9月1日から令和5年9月30日までの取引は、次のとおりであった。

よって、1. 9月の取引について仕訳を示しなさい。

2. (1) 決算整理のための情報の整理 および (2) 決算整理仕訳を示しなさい。

(3) 半期(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。

取引

9月1日 厚木商店から商品¥1,100,000を仕入れ、代金は掛けとした。

野球バット @¥50,000 10本

野球グローブ @¥30,000 5個

テニスラケット @¥15,000 30本

4日 平塚商店に商品¥2,711,500を売り渡し、代金は掛けとした。

野球バット @¥70,000 20本

野球グローブ @¥42,000 10個

サッカーボール @¥14,500 15個

サッカースパイク @¥29,000 16足

テニスラケット @¥21,000 10本

6日 小田原商店から商品¥600,000を仕入れ、代金は掛けとした。

サッカーボール @¥10,000 20個

サッカースパイク @¥20,000 20足

10日 売買目的でオリエンタルランドの株式 300株 @¥5,190 を買い入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

15日 厚木商店に買掛金¥2,500,000を小切手を振り出して支払った。

20日 横浜商店から売掛金¥1,000,000について同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

22日 電話料金およびインターネット使用料金を合わせて ¥46,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

25日 小田原商店へサッカーボール @¥10,000 20個 を注文し、その内金として ¥80,000 を現金で支払った。

28日 9月分使用の水道代と電気代をあわせた¥100,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

29日 9月分の給料 ¥540,000 を当座預金口座より振り込んだ。

決算整理

1. 損益計算書および貸借対照表を作成するために情報を整理しなさい。

- ① 期末商品棚卸高 ¥6,210,000
- ② 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高の10%を見積もり、貸倒引当金を設定する。
- ③ 建物および備品減価償却高（6か月分を計算する）
- ④ 有価証券評価高（9月29日の株価（終値）を用いる）
- ⑤ 現金の実際有高
- ⑥ 収入印紙の未使用高 ¥20,000
- ⑦ 保険料は6月に1年分を支払ったものであり、前払分を繰り延べる。
借入金に対する利息¥1,350,000が未払いである。

2. 決算整理 1. をもとに決算整理仕訳を示しなさい。

3. 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。（スプレッドシート）

単元内自由進度学習	【応用コース】
-----------	---------

1. 仕訳

	借 方	金 額	貸 方	金 額
9 / 1				
4				
6	仕 入	600,000	買 掛 金	600,000
10				
15	買 掛 金	2,500,000	当 座 預 金	2,500,000
20	現 金	1,000,000	売 掛 金	1,000,000
22				
25				
28	水 道 光 熱 費	100,000	当 座 預 金	100,000
29	給 料	540,000	当 座 預 金	540,000

2. 決算整理

(1) 整理した情報を記入しなさい。

--

(2) 決算整理仕訳

	借方	金額	貸方	金額
①				
②	貸倒引当金繰入		貸倒引当金	
③	減価償却費		備品減価償却累計額 建物減価償却累計額	
④				
⑤				
⑥				
⑦				

(3) 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。(スプレッドシート「自由進度学習課題」ファイル)

発展学習 テーマを1つ選択して取り組もう。

- 期末商品棚卸高にも評価損はあるのだろうか。
- 減価償却費を計上する際の、定額法と定率法を採用する基準はあるのだろうか。
- 相原商店の経営状況の良し悪しはどのようにしてみるのだろうか。
- 気になる会社の財務諸表を見てみよう。
- その他 (テーマ : _____)

図2 (チャレンジコース)

単元内自由進捗学習課題

【チャレンジコース】

相原商店の令和5年9月1日から令和5年9月30日までの取引は、次のとおりであった。
よって、1. 9月の取引について仕訳を示しなさい。

2. (1) 決算整理のための情報の整理 および (2) 決算整理仕訳を示しなさい。
- (3) 半期(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)の損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。

取引

9月1日 厚木商店から商品を仕入れ、代金は掛けとした。

野球バット	@¥50,000	10本
野球グローブ	@¥30,000	5個
テニスラケット	@¥15,000	30本

4日 平塚商店に商品を売り渡し、代金は掛けとした。

野球バット	@¥70,000	20本
野球グローブ	@¥42,000	10個
サッカーボール	@¥14,500	15個
サッカースパイク	@¥29,000	16足
テニスラケット	@¥21,000	10本

6日 小田原商店から商品を仕入れ、代金は掛けとした。

サッカーボール	@¥10,000	20個
サッカースパイク	@¥20,000	20足

10日 売買目的でオリエンタルランドの株式 300株 @¥5,190 を買い入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

15日 厚木商店に買掛金¥2,500,000を小切手を振り出して支払った。

20日 横浜商店から売掛金¥1,000,000について同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。

22日 電話料金およびインターネット使用料金を合わせて ¥46,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

25日 小田原商店へサッカーボール @¥10,000 20個 を注文し、その内金として ¥80,000 を現金で支払った。

28日 9月分使用の水道代と電気代をあわせた¥100,000 が当座預金口座から引き落とされたと通知を受けた。

29日 9月分の給料 ¥540,000 を当座預金口座より振り込んだ。

決算整理

1. 損益計算書および貸借対照表を作成するために情報を整理しなさい。
 - ① 期末商品棚卸高
 - ② 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高の10%を見積もり、貸倒引当金を設定する。
 - ③ 建物および備品減価償却高（6か月分を計算する）
 - ④ 有価証券評価高（9月29日の株価（終値）を用いる）
 - ⑤ 現金の実際有高
 - ⑥ 収入印紙の未使用高
 - ⑦ 保険料は6月に1年分を支払ったものであり、前払分を繰り延べる。
借入金に対する利息¥1,350,000が未払いである。

2. 決算整理 1. をもとに決算整理仕訳を示しなさい。

3. 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。（スプレッドシート）

B 1 a 簿記

番 氏名

単元内自由進度学習 【チャレンジコース】

1. 仕訳

	借 方	金 額	貸 方	金 額
9 / 1				
4				
6				
10				
15				
20				
22				
25				
28				
29				

2. 決算整理

(1) 整理した情報を記入しなさい。

--

(2) 決算整理仕訳

	借方	金額	貸方	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				

(3) 損益計算書および貸借対照表を作成しなさい。(スプレッドシート「自由進度学習課題」ファイル)

発展学習 テーマを1つ選択して取り組もう。

- 期末商品棚卸高にも評価損はあるのだろうか。
- 減価償却費を計上する際の、定額法と定率法を採用する基準はあるのだろうか。
- 相原商店の経営状況の良し悪しはどのようにしてみるのだろうか。
- 気になる会社の財務諸表を見てみよう。
- その他 (テーマ : _____)

--

図3

番 氏名

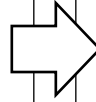
[問い]

あなたなら、どのような経営改善案を提案しますか？

当期純利益を上げる方法は（ある・ない）。

1. 気になるところを書き出してみよう。

2. 1で書き出したことの経営改善案を考えよう。



3. 経営改善案をグループで共有しよう。

メンバー	同じところ	異なるところ

4. グループとしての経営改善案を記入しよう。

5. 4で考えたグループとしての経営改善案を他グループ向けに紹介しよう。(スプレッドシート)

6. 他グループの経営改善案を見て、気になった班を記入しよう。

--

7. 他グループと情報共有しよう。

メンバー	同じところ	異なるところ

8. 同じグループのメンバーが集めた情報を整理しよう。

グループ	担当	同じところ	異なるところ



9. グループでの話し合いや他グループとの情報共有をして、自分の提案する経営改善案を記入しよう。

--

10. 9で提案した経営改善案を反映した損益計算書および貸借対照表を作成しよう。(スプレッドシート)

① 今年度の当期純利益¥500,000 という予算を立てていましたが、6か月（4月1日から9月30日）が経過した時点での当期純利益は¥20,000 です。

今年度の予算目標を達成するためには、どのような経営改善案が考えられるでしょうか。

はじめの経営改善案と変わらなかったところ	なぜ変わらなかったのか？
	
はじめの経営改善案から変わったところ	なぜ変わったのか？
	

② 自己の学習の取り組みを振り返り、うまくいった取り組みや課題が残った取り組みにはどのようなところがあつたか、また今後の学習にどのように生かしていきたいかなどを記入しましょう。